

保護者等からの事業所評価の集計結果 通園

事業所名	港区立児童発達支援センターばお					公表日	令和7年 3月 24日	
		利用児童数	82名		回収数	59		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	63	3	1		・バッタの部屋での活動にて活動中に園児同士がぶつかるといった怪我が多すぎると思います。日中にばおから電話連絡がくるとまたぶつかって怪我したのか心配してしまいます。保育参観の時にバッタの部屋での活動様子を拝見しましたが、我が子を含め、予測不可能な動きをする園児達。活動スペースに対して園児人数が多く園児同士が今にもぶつかりそうな様子にはヒヤヒヤしました。バッタの部屋での活動については園児の人数を絞って少人数性での活動への見直して頂きたいと切に願います。大きな怪我になってからでは遅いと思いますので何卒ご検討宜しくお願い申し上げます。	・午後のバッタの使用時間はクラスごとにずらす、遊びの様子に合わせて早めに切り上げるなど、人数を分散して対応しています。それと同時に、他クラスのお子さんとの関わりも大切にしていきたいと思っています。 ・危険を予測したうえで共有して使用し、広い空間での活動時では、職員の配置をあらかじめ決めたり、お子さんに合わせて職員数を増やして配置するなど、引き続き安全に過ごせるよう対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	60	4	1	2	・娘は特に、全てのことにに対して手がかかり、食事介助が必要なため、人員を使わせてしまっております。申し訳ないです。 ・通園クラスに所属していますが、途中で先生が退職されたりで年度初めより先生の数が減っています。補充の先生等はいるのでしょうか？残った先生方に負担がかかっているのか心配です。 ・普段は人数は足りていると感じるが、病欠が出た時などの人数が足りているか、もしくは負担が大き過ぎないかは懸念している。	・クラス職員だけではなく、非常勤職員なども配置し、通園全体で、支援に支障のないように、必要な人数を確保しています。 ・広い空間での活動時では、職員の配置をあらかじめ決めたり、人員を増やしたりするなどして安全に過ごせるように配置していきます。 ・クラス運営に支障の出ないよう、事務仕事等の業務も内容や時間帯も工夫して取り組んでいます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67				・考えるな、見よ ウィトゲンシュタインの名言ここにあり ・自由な遊びの時間にも、机と椅子に座る癖をつける配慮があるとなお良いと思います。 (姿勢は集中力につながるため)	・自由遊びの時間でも、遊び方によって椅子に着席した方が集中できる場合には、椅子への着席も促しています。 ・自由遊びの際に、机上（パズルや手先）、玩具、粗大（走る、ボール等）のコーナーなどに分けています。 ・今後も、お子さんの過ごしやすい環境づくりを心掛けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	64	3			・埃が気になった ・トイレで下着を履きやすいようにベンチが配置されているところが素晴らしい。手を拭くペーパータオルの設置場所はやや高い印象はあるが、そもそも個々のタオルを持参して使う環境でもいいのではないかと、思う。	・毎日、清掃業務を依頼していますが、定期的に汚れやほこりなど清潔についても確認しています。 ・お子さんも使いやすいよう、水道やトイレに足台を設置しています。お子さんに合わせてペーパーの位置を工夫していきます。 ・トイレでは、クラスごとに使用するベンチを分けるなど衛生面に配慮しています。 ・今後も清潔な空間を保てるようにしていきます。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	60	6		1	・ABAなどもっと高度な療育を取り入れてほしい。アメリカに比べて日本の療育は遅れすぎているのが非常に残念。 ・よく理解していただいており、お陰様でのびのびと自分のペースで成長しているように感じている。	・PT・OT・心理士・STのクラス観察やケース会を通して、お子さんの様子を共有し、お子さんの段階に合った支援を検討しています。 ・研修等を通して、色々な療育や支援、専門的知識を学ぶ機会を設けています。引き続き、職員の研修の機会を設けるなどして、スキルアップを図り、学んだ知識を積極的に取り入れていけるよう尽力していきます。 ・通園は集団での支援となりますが、お子さんの様子や必要に応じて個別指導を行っています。 ・保護者と話す際に、活動のねらい等をさらに丁寧に説明していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	60	1		6	・対象年齢が決まっているものなどは問い合わせないとわからないことはあるかと思います	・ホームページに支援プログラムを公表しています。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	63	3		1	・先生方の寄り添う姿勢が大変有り難い一方で、こどもにとって少しストレッチのきいた(少し難しい)課題の見通しを持った提案があれば参考、勉強になると感じることがある。	・お子さんの現在の様子や保護者の方の意向も踏まえて、半年という期間の中で達成できる目標を設定した個別支援計画の作成を行っています。 ・お子さんの様子に合わせて、課題の内容などを工夫し支援を進めていきます。 ・お子さんの「できた!」という達成感を大切にしたいと考えています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	2		3		・本人支援、家族支援、移行支援（地域支援）の項目に分け、個別支援計画を作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	62	3		2		・1人1人のお子さんに合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	60	1		6		・毎日、様々な活動を取り入れ、実施しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	36	6	13	12		・保育園や幼稚園と併用されているお子さんが増えており、必要に応じて、保護者様の了承のもと、園の先生方と情報共有を行っています。引き続き、交流する方法について検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	59	7				通園利用開始時にオリエンテーションを実施し、ご説明しています。その他でも、必要に応じて、丁寧に説明するよう心掛けています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	67				・細かく説明して頂き助かりました。	今後も引き続き、お子さんの様子を共有しながら、ご説明していけるように努めていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60	5		1	・研修もさることながら、個々に相談に乗っていただけるチャンスもたくさんあり、都度電話でお話を聞いていただけることもあるので困ったり不安になったりしたことはない。 ・研修会に参加できていないため。	・家族支援プログラムとして、保護者向けの勉強会や親子プログラムを定期的に開催し、保護者の方同士も意見交換できる場としています。保護者が来所された際に、最近のばおでの様子、ご自宅、保育園での様子を共有するようにしています。また、お子さんの様子に合わせて電話や連絡用アプリでも報告しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	63	3			・連絡帳にもっと詳しく書いて欲しい	・携帯端末で読むことを前提に文量に配慮し、詳しく伝えるよう工夫しています。また、詳しく説明が必要な際やご相談に応じる際は、電話や面談などで、直接お会いできる機会に伝えるようにしています。 ・活動以外の自由遊びや給食などの場面での変化や頑張っていることをコドモンや来所された際にお伝えしています。日々の連絡アプリではお伝えしきれないエピソードなどを懇談会や面談でお伝えしたいと思っていますので、ご参加ください。 ・引き続き、お子さんの様子を伝えあえるよう、心がけてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	65	1			・連絡帳などでその日の活動内容等わかりやすく伝えてくれるので毎日楽しみにしています。	・年3回の面談を通して、ご家庭でのお困り事をうかがい、通園での取り組みやお子さんの様子を伝えるようにしています。 ・定期的に保護者向け勉強会や懇談会を実施しています。
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	63	1		3	・インフルエンザで休むと伝えたら電話口の方が「大変でしたね」と言ってくださって、救われたというか、少しの声かけで安心できて本当に涙がでた。 ・子どもが安心して過ごせる場所であることは、毎日ばおに行きたがる様子からも明らか。大変有り難い。	・引き続き、お子さんやご家族にとってまばおが安心できる場所となるように支援してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42	14	1	9	・保護者同士のコミュニケーションは盛んで心強い。一方で兄弟同士の関わりはほほえない。運動会や遠足などのイベントで兄弟も参列、参加できる機会があれば尚いいと感じる。	・スペースの都合上、行事では人数に制限がありますが、兄弟同士の関わりも前向きに検討できると良いと考えており、きょうだい児向けの支援やイベントなどを来年度以降計画してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	57	6		3		・連絡用アプリやお電話でご相談があったときには、迅速かつ丁寧に対応するように心掛けています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	64	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	59	4		3	・自己評価の結果を見たことがありません。 ・コドモンを通して毎日、その日の様子を伝えていただけて有り難い。	・これまで館内掲示やWAM NET（独立医療機構福祉医療機構）のホームページ等に公表しておりましたが、昨年度よりばおのホームページに公表しています。ホームページについても館内に案内を掲示するなど周知に努めてまいります。 ・連絡アプリのほかに、月のおたよりで行事やクラスの様子、避難訓練などの取り組みをお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	62			3		・研修などの機会を設けて、職員共通認識のもと配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	55			8		・研修の機会を設けて、マニュアルの確認をし、どの職員も対応できるように努めています。 ・契約の機会などに、各ご家庭にご説明する機会を設けています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63			2		・定期的に避難訓練を実施し、災害時に対応できるようにしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	63			3		・月のおたよりや懇談会、オリエンテーションなどの機会を活用し、周知に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	63			3	・怪我等をした時には御電話で伝えてくれるので有り難く思います。 ・小さなケガでも丁寧に連絡をいただいております 感謝しています	・怪我等をしてしまったときだけでなく、怪我等を見つけたときや食欲がないなど様子がいつもと異なるときなど、電話や連絡用アプリにて詳細をお伝えしています。怪我等や症状に関しては、必要に応じて看護師が詳しい様子や処置内容を記入しています。 ・ケガなどが起きた際には、すぐにケガの状態や経緯など説明できるように努めています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	62	1		3	・子供は毎日バスに乗ってばおへ行くのは楽しみにしていると思います。 ・最初は緊張していますが、先生、お友達がわかるようになると安心出来る。	・次の日の活動を降園前に伝えたり、登園時に活動を伝えて楽しみに繋がるようにしています。 ・自由遊びは、お子さんの好きな玩具を準備し、楽しめる場になるように提供しています。 ・今後も、お子さんやご家族にとって安心できる場となるよう、安全に楽しく過ごせるよう支援していきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	59	3	1	3	・朝から笑顔です。 ・行くまでのバス乗車時間が長く退屈しているようですが、ばお自体は楽しく過ごしています。	・バスの時間の調整は難しいものの、バスの中で楽しく過ごせるように、バス会社と連携して工夫していきます。

満 足 度	29	事業所の支援に満足していますか。	62	2	1	・とても満足しています。職員の方一人一人が丁寧に接して貰いまた指導して頂き有り難く思います。 ・クラスの先生方は非常によくばお自体には通えて非常によかったと思っておりますが、前述の通り、さらに高度な療育レベルにすべくABAを取り入れてほしい。 ・いつも、懇切丁寧な対応いただき、ありがとうございます。感謝しています。 ・クラスの先生を始め、いつもご支援いただきありがとうございます。制作や遊びの工夫が毎日違って、子どもはばおをとっても楽しみにしています。また、持ち帰った作品の話をしてくれるのが保護者の楽しみです。今後ともばおが子どもたちにとって家以外の安心な場所として機能してくれることを願っています。 ・質問項目大杉。自己満足のための質問なら、無駄だから、迷惑 ・生活の基盤をつくっていただき、いろんなことを学ばせていただいております。大変感謝しております。	・厚生労働省の書式に則ったアンケートであり、質問項目が多い中、ご協力いただき、ありがとうございます。 ・引き続き、職員全体で支援力向上に努めたいと思います。お子さんやご家族にとってもばおが安心できる場所となるように支援してまいります。
-------------	----	------------------	----	---	---	--	--